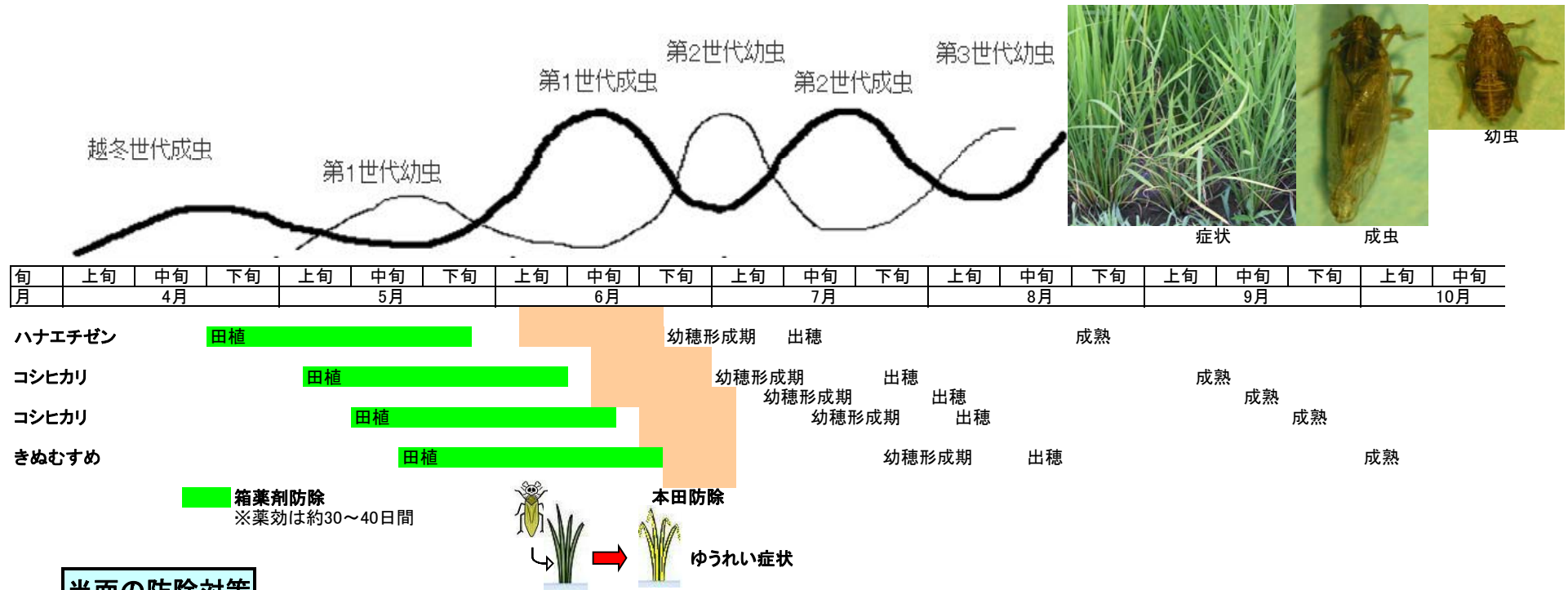


イネ縞葉枯病に注意しましょう

発生経過

- ・本病は病原ウイルスを持ったヒメトビウカが吸汁することで感染します。
- ・本年は昨年より1か月早く初発生が確認されました。
- ・ヒメトビウカの第1世代成虫は6月上旬頃から水田侵入量が急増します。第2世代幼虫は6月下旬頃から発生すると考えられます。
- ・分けつ最盛期までに感染したイネ株は枯死しやすいことから、早期に感染するほど被害は大きくなる傾向にあります。



当面の防除対策

- ・発病株を認めたら抜き取る。
- ・第1世代成虫の侵入が多い場合は成虫を対象として直ちに本田防除を行う。
- ・第2世代若齢幼虫期を対象として本田防除を行う。